

令和6年度 第4回 光が丘中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年1月30日（木） 午後1時30分から午後4時00分まで
- 2 開催場所 浜松市立光が丘中学校 会議室
- 3 出席委員 甘蔗 孝仁、青山 敏郎、溝口 玄、笹竹 和行、松井 章泰
森下 智子、實森 浜代、坂井 久司
- 4 欠席委員 瀧澤 文
- 5 学 校 山下 拓（校長）、瀬戸 一志（教頭）、石田 真（CS担当職員）
横山 貴美恵（CSディレクター）
- 6 教育委員会 井島 健蔵（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 横山 貴美恵
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から、輪番により溝口委員にお願いしたいとの発言があり、全員異議なくこれを承認した。本日は、溝口委員が議長を務めることとなった。

10 熟議事項

- (1) 学校関係者評価について
- (2) 次年度の学校運営の基本方針について
- (3) 学校運営協議会の自己評価について

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価について

議長の指示により、石田より学校関係者評価について、資料（8頁）と別紙「第2回学校評価」を用いて説明があった。また、教頭よりいじめ対策基本方針について下記のような説明があった。

- ・いじめの認知については、まずは訴えを挙げた生徒に寄り添うようにしている。
その上で、全体の状況把握に努めている。

委員からは、以下の発言があった。

- 「主体的な学び③」にあるように、進んで学習することについては、目当てや目標があつてこそできると思う。（その取り組みについて）具体例はあるか。（松井委員）

→英語について、自身の学生時代は英文を書いて調べて理解していたが、現在は、その理解をベースにいかにかコミュニケーションをはかれるかが大きな目的の1つである。その上でやりとりを通して多様な考えに触れること、つまり異文化理解がもう1つの目的となる。学習するうえで、相手に対してどう理解するかが大切なポイントとなり、それを1年生のガイダンスで説明している。他の先生も学習の目的、大切なことをガイダンスで説明したうえで教育している。(石田)

●アンケート結果の保護者の意見に、不登校生徒はちょっと出ただけで登校扱いをするのでは、(頑張ってる生徒は)つらいのではとあるが、どう受け止めているか。(松井委員)

→ご意見について真摯に受け止めている。(不登校の生徒で)学校に出られる子について手厚くしている。(そういう生徒も)行事にはよく出てくれるようになった。不登校となるきっかけは誰しも起こる可能性があり、難しい課題ではあるが、多くの方は学校のやり方を温かく受けとめてくれていると感じている。(校長)

●挨拶がよくできている。これは、コミュニケーションに必要な力である。ガイダンスにおいて学習の目的を説明していることが良い。「ICTが必要」というより、ガイダンス(学習の目的の設定等)を課題として、来年度のグランドデザインに反映してはどうか。(溝口委員)

→ご指摘の点について、対応し改善していく方向で考えている。(校長)

●アンケートを書いてもらって、集計も早く数字もでていますが、アンケートそのものが一つの評価として独り歩きしている。いじめや学習について数値では分かるが、つらい子がどれだけいて、親や先生はどう対応しているか(学習意欲に対してどう対応したか等)の積み重ねが学校を作っていると思う。(青山委員)

→学校の中では、それ(個々の事案)について対応していると思う。(溝口委員)

→タブレットを使ったアンケート(生活を明るくする調査)は、これまでと違って生徒も答えやすいと感じる。学校として難しいのは、子供から職員に報告したとき、「誰にも言わないで」と言われるケース、保護者から報告があったとき、「相手には言わないで」と言われるケース。この地域での生活に関わる事として結びつく為だと思う。また、人に言われている、されているような気がすると感じる子がいて、いじめは心理的にもつらいことだか、相手もあることで、認知することが難しい。いじめと認知とすることを一旦留まって様子を見たり、スクールカウンセラーを通して対応している。(校長)

●保護者アンケートで不登校の生徒に対する意見があるが、理解を得る仕組みがあるといい。生徒アンケートで、1年生は夢があると答えた生徒が多いが、3年生になると下がっている。夢がしぼんでいる気がする。3年生では90%超えるように、学習意欲が出るように指導してほしい。(坂井委員)

●不登校に対する意見は、自分の子ができているから言えること。自分の子も評価してほしい気持ちもわかる。(森下委員)

●アンケート結果を学校評価としなくてもいいのでは。数値の裏側にあるもの(生徒からのSOS等)に焦点を置き、対応する方がいいのでは。(青山委員)

- 1年生が課題となることが多いが、生徒が安心して通える学校である点、先生に相談できると答えた生徒が半数以上であることは私自身正直ほっとしている。行事を見てみると、子供たちが一生懸命で、団結力がある点について素晴らしいものがある。その一方、つらい思いをしている生徒もいる。信頼できる先生や相談できるところがあることが大切。(實森委員)
- 働き方改革等、先生にとっても大変な時代ですが、私は幼小中(学校)の流れを大切に考えているが、ここで協議している内容について保護者や地域にも知ってもらったほうがいい。学校ホームページ(以降「HP」と記載)でコミュニティ・スクール(以降「CS」と記載)の紹介をしているようだが、どうでしょうか。(松井委員)
- HPにCS会議録を乗せるように通知している。学校評価については、アンケートを実施して、(その結果から検討し)対応して、HPで(アンケート結果を)公開している。(井島さん)
- 保護者のアンケート結果は、ネガティブな意見が多いと感じた。どのような対応をしているのか。(会長)
- 学校の決まりについては校内で検討して対応しているが、全部の対応は難しい。(校長)
- 不登校の対応について保護者にも通知し、理解してもらうようにしたほうよい。(会長)

協議の結果、「学校関係者評価について」は、承認不要とした。

(2) 次年度の学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長より次年度の学校運営の基本方針について、別紙「令和7年度浜松市立光が丘中学校グランドデザイン」を用いて説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- 学習の基礎は読み書きそろばんです。ICTに力を入れすぎず、基本である教育のためのツールぐらい(の位置づけ)でよい。(溝口委員)
- (学校経営方針の)「一枚岩」とは、学校・生徒・保護者だと思う。(生徒を)社会にでも通じる、また社会にでも学習できる人に育てていけるとよい。(坂井委員)
- 「一枚岩」について誤解を生まないようにしたい。また、(グランドデザインの)挨拶運動については、挨拶そのものがどういったものか教えるところから始め、それをふくめる運動である。(青山委員)
- 一人が自分の意見を言えることが自信や自己肯定感につながり、いい社会になると思う。そのように繋げていってほしい。(實森委員)
- 主体性に焦点を当て、それを育てていくような授業づくりをする点が良い。(笹竹委員)
- 次の校長には、それを咀嚼して理解してほしい。光が丘中学校は龍山、竜川、光明が一つになった地域であるため、地域の思いを汲んでほしい。参観が3回から2回に減ったようだが、学校は(他から見ると)敷居が高く感じる場所があるため、保護者の思いも汲んでほしい。(松井委員)

→参観会は減ったが、教育相談は充実させている。また、説明会や懇談会など、参観会以外でも保護者が学校に来てもらうことが多い。(校長)

●主体性を持って授業にのぞむことが大切。(会長)

協議の結果、「次年度の学校運営の基本方針について」は、新年度の第1回協議会において承認することとした。

(3) 学校運営協議会の自己評価について

議長の指示により、教頭より学校運営協議会の自己評価について、資料(9頁)および別紙(各委員の自己評価)を用いて説明があり、委員からは以下の発言があった。

<評価項目1>

●これまでより、今年度は様々な課題について熟議できたと思う。(松井委員)

<評価項目2>

●学校評価アンケート結果を踏まえた運営のあり方等、熟議できた件と、課題として、自ら学ぶ力を育て、自己肯定感を持って自信をつけ、自分の気持ちや思っていることが、しっかり言えるようコミュニケーション力をつけるとよいとする實森さんの意見に賛成。(笹竹委員)

<評価項目3>

●自身は自分の関係する自治会等で意識して学校の様子を伝えて、協力を促している。学校もHPや地域回覧板等の取り組みしている。(溝口委員)

<評価項目4>

●学校の活動内で、無理のない範囲でできたらと思う。(溝口委員)

協議の結果、「学校運営協議会の自己評価について」は、承認不要とした。

【その他報告事項等】

●司会の教頭から、これまで連絡事項をメールで行っていたものをさくら連絡網で行う旨の説明があり、各委員にさくら連絡網の登録用紙を渡し、登録方法等の説明があった。

●司会の教頭から、令和7年度における委員のお務めの意向について、さくら連絡網にて返信頂く旨の説明があった。

●司会の教頭から、令和6年度の卒業式が3月18日(火)、令和7年度の入学式が4月5日(金)に開催されるとの説明があり、ご出席頂くよう促した。